

山形森林管理署	
タイトル	平成24年度低コスト作業システム検討会
実施年月日	平成24年8月31日(金)
実施場所	山形県寒河江市白岩外1字清水山外11国有林136林班い1小班外
参加者	局署：東北森林管理局、山形森林管理署 10名 外部：村山地域森林施業集約化部会の参加機関 ((独)森林総合研究所森林農地整備センター山形水源林整備事務所、 山形県村山総合支庁森林整備課、山形県森林研究研修センター、 山形県林業公社、山形市、天童市、寒河江市、村山市、 東根市、尾花沢市、大江町、山形県森林組合連合会、 山形地方森林組合、西村山地方森林組合、北村山森林組合、 東根市森林組合)、 署管内林業事業体等 33名 計 43名
<b>【取組の目的・概要】</b> 列状間伐と路網作設を組み合わせた効率的な作業システムの普及啓発を目的として、実際の作業現地をフィールドに検討することで、関係者の理解を深めていただくため開催。 当日は、午前中の2時間、現地を視察しながら、事業概要、林業専用道、森林作業道、列状間伐等、作業システム及び手法、工夫についての説明と意見交換を行った。	
<b>【取組の成果】</b> 列状間伐の状況と実際に作設された森林作業道等を見ながらの検討、意見交換のため、参加者の理解が得やすかった。特に、森林作業道の幅員、縦断勾配、切り土、盛り土の留意点等やルート選定等作設時の注意点を熱心に聞かれていた。 また、実際に作業を行っている森林組合及び林業事業体からは、作業班の現状、高性能林業機械の保有状況、作業システム、今後必要と考えている機械などについて紹介していただいた。	
<b>【出された意見】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・列状間伐の列の設定はどのように行うのか。次回の間伐は何年後にどのように行うのか等の質問があった。</li> <li>・実際の作業実行上では路線の選定に苦慮しており、道作りが一番のポイントである旨の意見があった。</li> </ul>	
<b>【今後の課題】</b> 低コスト作業の確立・定着化のためには、署の指導体制の強化や事業体の努力はもとより、作業箇所の集約化、団地化を推進し、一事業地での事業量確保のための関係機関によるより一層の連携強化の取り組みが必要。	



事業概要等の説明



森林作業道



森林作業道についての説明



列状間伐の伐採列



作業システム等の説明



意見交換